

HEARTS NDS

大澤健一と歩んだ20回の軌跡が生むサウンド!



ハーツウインズ

「ウインドアンサンブルの名曲を紹介する」 「吹奏楽の可能性を追求する」 それらの目的達成のため2007年に発足。

吹奏楽界に多大な功績を残し2004年に他界した指揮者フレデリック・フェネルの提唱した「ウインドアンサンブル」を継承し、 フェネル氏の日常の目標であった「吹奏楽の楽しさを広め、吹奏楽の発展と向上に情熱を注ぐ」精神を尊重して演奏活動を行っている。 メンバーは音楽大学を優秀な成績を修めた奏者からなり、プロオーケストラや音楽大学講師として活躍している奏者も在籍。 ソロから室内楽アンサンブルなど様々な演奏を繰り広げる少数精鋭のウインドアンサンブル。

2008年荻窪音楽祭において室内楽とソロコンサートに出演、2009年7月に第1回定期演奏会を開催。各方面より好評を得る。 2011年5月の第3回定期演奏会ではパーカッショニスト上野信一をソリストに迎え、

W.クラフト作曲「ティンパニ協奏曲第2番 吹奏楽改訂版」のアジア初演を行い、来日した作曲者クラフト氏及び各方面より絶賛される。

朝日テレビ系列「芸能人格付けチェック!お正月スペシャル」2020年、2021年と2年連続出演。



指揮·音楽監督

大澤健一 Conductor, Kenichi Osawa

国立音楽大学器楽科首席卒業。東京シティ・フィルのテューバ奏者を経て、指揮者フレデリック・フェネルの勧めで 指揮者になる。1995年から2019年まで国立音楽大学で教鞭を執り、「くにたちウインズ」では、2005年より15回に わたって定期演奏会を指揮。これまで指揮した吹奏楽のためのオリジナル作品は、すでに100曲以上になる。2002 年韓国済州島国際金管フェスティバル、アンサンブル金管部門審査員、2007年、2009年台湾国際バンドフェスティ バル、2011年グレインジャー音楽祭、2017年中国・大連、2018年中国・北京での日中友好記念演奏会、など国内外 の音楽祭にて指揮者として招聘される。2012年「ハーツウインズ:アルメニアンダンス」などCDを多数収録。これま でに指揮を高階正光、湯浅勇二、クルト・レーデル、フレデリック・フェネルに師事。 現在、桐朋学園短期大学講師。 亜細亜大学客員教授。また、2007年に発足したプロ吹奏楽団「ハーツウインズ」の音楽監督。指揮者・編曲者として 吹奏楽作品のコンサートやレクチャーを行なっている。http://osawasound.com

コンクールお悩み相談室

演奏する上での様々な悩み。経験豊富なハーツウインズ団員及び音楽監督が、皆様のご質問に親身にお答えします。回答は メールにてご返答、また随時ウェブ・SNS にて公開いたします。(公開可能な質問のみ)沢山のご質問をお待ちしております。

【質問例】(出来る限り具体的にお書きください)

- ◆○小節目の音程が毎回合わない・テンボの変わり目のテンボの出し方がうまく行きません。良い振り出し方は?
- 人数が少なくカットしないといけないパートがあるがどれをカットしたら良いか分からない。

質問リンク (受付開始:4/1~)



ハーツウインズ オフィシャル

